

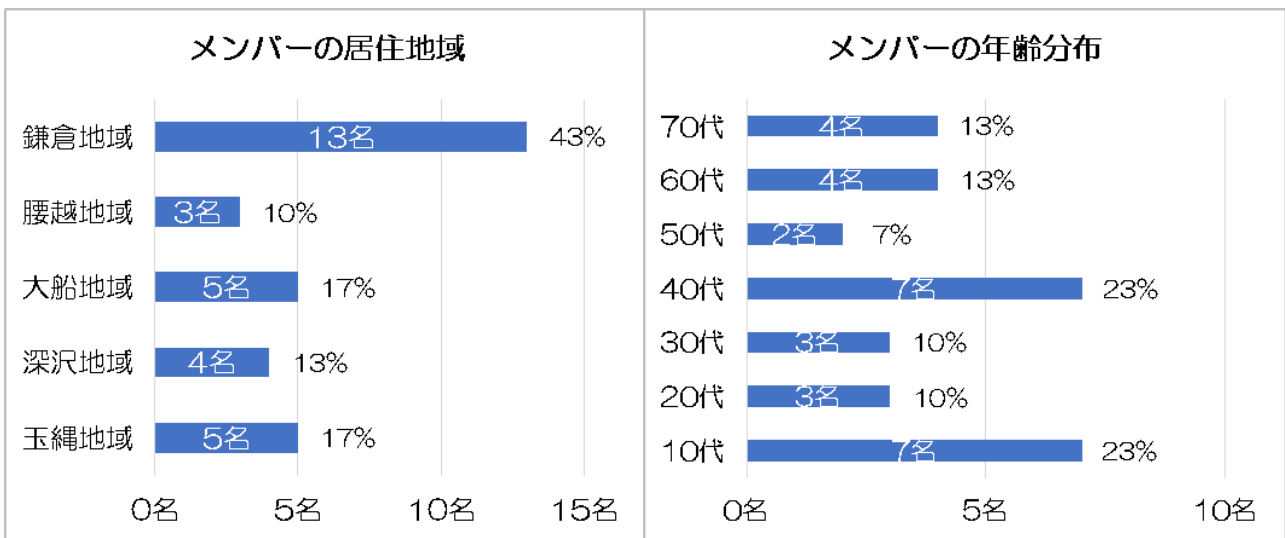
## ●鎌倉市本庁舎等整備市民対話（第1回）を開催しました。

鎌倉市では、平成29年（2017年）3月に本庁舎を「移転して整備する」とした「鎌倉市本庁舎整備方針」を、平成30年（2018年）3月に移転先を深沢地域整備事業用地（行政施設用地）とした「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」を策定しました。このような段階を経て、更に平成30年（2018年）度は、新たな本庁舎の基本構想の策定に向けた取組を始めたところです。

市民対話の目的は、市民目線や市民感覚を取り入れた「本庁舎等整備基本構想」の策定を目指し、取組状況を共有するとともに、新たな本庁舎をどのような建物にするかという理念について、多様な意見を伺っていくことであり、次のとおり、市民対話（第1回）を開催しました。

### ■市民対話メンバー

- ・無作為抽出により案内状を送付した市民2,000名のうち参加を希望された26名の方
- ・平成28年度に実施した本庁舎整備方針市民対話の参加者で、引き続き参加を希望された4名の方
- ・上記の計30名



### ■開催概要

第1回市民対話では、公共施設再編や本庁舎整備についてのこれまでの取組状況を紹介するとともに、実際に深沢地域整備事業用地を見学していただきました。

日時 平成30年5月19日（土）  
午後1時～3時30分

会場 深沢学習センター  
2階第3集会室

参加者 22名（現地見学は20名参加）

【2ページ目につづく】



会場の様子

## 1. 鎌倉市の公共施設再編の取組について

次の世代に過大な負担を残さないための計画である「鎌倉市公共施設再編計画（平成27年（2015年）3月策定）」の策定背景や再編方針などについて、公的不動産活用課が説明しました。

## 2. 本庁舎等整備基本構想の策定に向けて

現在の本庁舎の建物等に関する課題（解決を目指す課題）、本庁舎に求められる機能などを公的不動産活用課が説明するとともに、平成28年（2016年）度に行った市民対話でもご協力いただいた神奈川大学工学部都市計画研究室から、基本構想が実際の庁舎整備にどのようなつながっているか他の自治体の事例をご紹介いただきました。

## 3. 深沢地域整備事業用地の見学

参加者に深沢地域整備事業用地を見学していただき、深沢地域整備課から深沢地域整備事業用地の土地利用案について説明をしてもらいました。

## 4. 参加者からのご意見等

参加者からいただいた主なご意見等をご紹介します。

- ・深沢地域整備事業用地を移転先とした経過等の説明をもっと丁寧に説明してほしい。
- ・まだ移転は決まっていないと言う方や深沢に移転することを知らない方もいる中で、このまま参加すると移転を容認したと見られてしまうと感じる。
- ・鎌倉は多様な意見を持つ市民が多いまちであり、他都市と同じ進め方では進まない。
- ・これまでの経過を理解している人、今回の募集チラシで知った人、さまざまな人がいて、参加者によって考えの前提条件が違うため、ある程度合わせる必要があると考える。



見学の様子（泣塔付近）

## ■今後の進め方

経過等のもっと丁寧な説明が必要とのご意見を踏まえて、改めてメンバーに経過等の説明を行うこととしました。その上で、新たな本庁舎の基本構想の策定に向けて第2回の市民対話を開催していきます。